令和３年度　長崎市介護支援専門員連絡協議会　中央ブロック研修会
開催日　令和３年１１月１８日（金）
報告者　水頭正樹

　コロナウイルス感染拡大に伴い研修会が減少している現在、今年度初のブロック研修会がオンライン形式で開催された。初のオンライン形式となるブロック研修会のテーマは、ケアマネのスキルアップを目的とした事例検討会となり、多くのケアマネジャーに参加してもらうことができた。また、この研修会は長崎市介護支援専門員連絡協議会として、今後オンライン形式での研修開催を視野に入れた試みといった側面もある。
研修委員会を中心に繰り返し進行方法を見直し、当日は以下のプログラムとなった。

　１・開会挨拶
　２・事例紹介
　３・事例に対する質疑
　４・事例展開（強さと弱さ）
　５・事例展開（問題と課題の整理）
　６・事例展開（アイデアとまとめ）
　７・閉会挨拶

　事例検討会では、ホワイトボードと事例展開シートが必要となる。ホワイトボードに板書できる環境としてオフィスメーション株式会社の会議室をお借りし、事例展開シートは協議会オリジナルで作成したシートが使用された。
　この研修会の肝となる、事例紹介後の質疑では、参加者から事例提供者へ制限時間が足りない程の質問がなされ、事例の理解へと繋がり、最後のアイデアを募る段階では再現性のあるアイデアが発表された。その内容から、参加者の事例に対する理解度、そして研修の達成度も高いように感じられる研修会となった。
　また、協議会としてもオンライン形式ならでの課題として、グループワークに比べ参加者が質問や意見を出しづらいこと、司会者側から受講者の反応が分かりづらく進行のタイミングが取りづらいといったことなどを肌で感じることができ、次回へ繋がる学びを得ることができた。
　最後になるが、初のオンライン研修開催にあたり、コロナ禍で集まる事もままならない状況のなか、研修委員会を中心に準備をしてくださった役員の皆様、またオフィスメーション株式会社の皆様をはじめ多くの方々のお力添えがあったことに心より感謝を申し上げたい。